

# 北海道ミッドアマチニア選手権 (最終日)

◇20日◇石狩・札幌・バイGC (69・73打、パー2) ◇出場8人  
佐藤真直 (43歳) が2年連続3度目の優勝を果たした。トップに1打差の2位でスタートした最終日は74で回り、連覇のチーフパターで逆転し、栄冠をつかんだ。マッチング・スコアカード方式により上位8人に日本ミッドアマチニア選手権 (11月16・18日、山口・宇都宮CC) 万年池東コース) の出場権が与えられた。

# 佐藤真直 3度目V

## 相性抜群コース

唐橋杜々 (たんだん) と機会を得た。佐藤は初日が首位から3打差の3位、2日目1打差の2位と好位展開。迎えた最終日は「パーは入る。優勝を狙っていく」とスタートした。チャンスはいきなり訪れた。一番で佐藤のパーに対し、首位を占める村居がティーショットを左の林に入れば、出た。その首位に並んだ。

キアが入った。村居がスコアを落とす中、佐藤は一番から5連続パー。8番で2打を沈めパーティーを奪い、2位との差を4打に広げ前半を36で折り返した。後半は「バックナインが勝負」と、苦戦しながらもスコアをマークし逃げ切った。くしゅも本コースは難関ではないがベストスコア64を出した相性抜群のコース。「運ができてよかった。これ」。この大会が楽しみだ。勝つのがノルマだれい」と笑顔で振り返った。

佐藤は現在43歳。7年後のシニアへ向けて大きな目標がある。ドライバーのイップスで24歳とき、一度はゴルフから遠ざかった。しかし、石川達也富里からの誘いを受けて、33歳のときやっぱりゴルフが好きだから」と再開。今は仕事の傍ら年間40・50ラウンドをこなす。プロのシニアツアー参戦のためトレーニングを重ねている。目標は元トップアマで、13年に相親でプロに転向した田村尚之 (52) だ。「自分の好きなことをやっていたいから」と研究を惜まない。日本ミッドアマは5度目の挑戦になる。昨年は「優勝のクリスタルを手に入れた」と喜んでいた。ゴルフに人生を掛ける佐藤の挑戦が始まる。



3度目の優勝を果たした佐藤真直選手。昨年同様、本立てで喜んだ。佐藤のティーンズ

## 3位→2位→逆転連覇 シニアプロ目標「勝つのがルマ」

◆佐藤真直 (さとう まさき) 1973年 (昭48) 3月3日、札幌市生まれ。ゴルフは12歳から父・博征さん (71) の影響で始める。現在のハンディキャップはプラス1・5。得意なクラブはドライバーで、平均飛距離は260・175yd、80°。

◆北海道ミッドアマ歴代優勝者◆

回数	開催コース	優勝者 (所属)	スコア
1	100	内藤ナツム (内藤)	72
2	306	野手エミ (野手)	74
3	309	高野エミ (高野)	74
4	309	高野エミ (高野)	74
5	309	高野エミ (高野)	74
6	309	高野エミ (高野)	74
7	309	高野エミ (高野)	74
8	309	高野エミ (高野)	74
9	309	高野エミ (高野)	74
10	309	高野エミ (高野)	74

取ることを考えた。  
◆11位タイから7位タイに入った森本肇年 (44=ハッピーパレー) 後半ボギーが8つでダメかなと思った。ギリギリでも入れてよかった。目標は日本ミッドアマでトップ10。

◆北海道ミッドアマ最終日成績◆

順位	選手名 (所属)	1日目	2日目	合計	スコア
1	佐藤真直 (札幌)	74	74	148	64
2	唐橋杜々 (札幌)	75	75	150	65
3	坂井尊治 (旭川)	76	76	152	67
4	大石浩二 (札幌)	77	77	154	69
5	森本肇年 (札幌)	78	78	156	71
6	小宅隆夫 (札幌)	79	79	158	73
7	小松大輔 (札幌)	80	80	160	75
8	小松大輔 (札幌)	81	81	162	77
9	小松大輔 (札幌)	82	82	164	79
10	小松大輔 (札幌)	83	83	166	81

◆最終日を77で回り4位タイに入った大石浩二 (45=鶴の) 日本ミッドアマ出場は初めてで考えてもいなかった。これから仕事の休みをどう取るのか考えなきゃだめですね。  
◆4位タイの本正博 (52=新千歳) 前半はパーディー (3パーディー) が入って良かった。後半が実力。10年ぶりの日本ミッドアマなので、まずは予選突破したい。

## 宮本呆然2位

◆14年連続の宮本大郎 (32) 順位を上げ、4位タイから2つ順位を上り、2位に入った。アテスした後、ぼろぼろと遠くを見つめていた宮本は「しゅべれないです。3日目とも納得がない」と悔を落とした。14日から開催されていたANAオープンに出場していた。優勝は70をマークしたが連勝はかなわなかった。疲れを見せず大会に出場。3位に終わった昨年のリベンジを目指したが、5打差の敗退に「ここで勝てなかったのは悔しい」と顔を赤らめた。



## 村居 3位

◆首位争奪の村居 (42=エミコ) が、連覇のタイで3位に終わった。この日は一番でキア、キアを崩した。4番 (パー3) ではティーショットが就木に当たった。スコアカードでトリプルボギーに、それでも5番 (パー5) で2オンに成功し、1・5打を沈めイーグルを奪った。「2日間は気持ちよくゴルフができた。最終日はプレッシャーもあり、いつもの自分でした。初出場となる日本ミッドアマチニアに向けて、一歩ずつ予選を通過したい」と見据えた。



ティーショットを打つ村居